



# どぼくかるた広報活動

コンサルタント委員会市民交流研究小委員会



## 「どぼくかるた」大会開催！

多くの人に土木への興味を持っていただくために、土木用語を集めた50音（全44種類）の「どぼくかるた」をH30に作成しました。今年度は、かるたを5セット製作し、表-1に示す4つのイベントで「どぼくかるた大会」を開催しました。幼児から大人まで楽しく遊びながら土木について学んでいただきました。また、川崎市内、逗子市内の小学校（2校）においても、どぼくかるた大会を実施し、どの学年も楽しく学んでいただきました。

### 逗子市内の小学校5、6年生における、かるた大会の様子

自分たちで全部やっていた。裏の解説まで読み、静かに聞いていた。興味のある子、ない子の差はあるにせよ楽しんで見られた。また「油圧ショベル」、「ラウンドアバウト」など、繰り返しカルタ取りをやる中で耳に残るのか口ずさんでいる子もいた。

(担任の先生の感想)

「土木って知ってる？」という投げかけに、「知らない!」、「木!」、「林業!」、「ブルドーザー!」と土木工事という言葉から連想するのいろいろ出てきました。でも、実際のところはよくわからないというのが実態でした。カルタという身近な遊びから土木の世界に触れるきっかけになるのが良いと感じた。

解説に難しい言葉があるので、わかりやすい言葉で書いてあると子どもも理解しやすいと思った。大きなパウチシート(写真)も全体に示す時に役立った。色々な写真があると活用しやすい。絵がかわいい!

表-1 どぼくかるた大会開催概要（2019年度）

名称	土木学会 オープンキャンパス	2019年度「女子中高生夏の学校 2019～科学・技術・人との出会い～」	第12回 土木ふれあいフェスタ in 愛媛	第13回 土木ふれあいフェスタ in 秋田
日時	令和1年7月6日(土) 10:00～16:30	令和1年8月10日(土) 1 3:00～15:15	令和1年11月4日(月・祝) 10:00～17:00	令和2年1月18日(土) 10:00～17:00
場所	土木学会	国立女性教育会館	愛媛県松前町 エミフル MASAKI	秋田県秋田市 イオンモール 秋田
主催	土木広報センター	独立行政法人 国立女性 教育会館	コンサルタント委員会 市民 交流研究小委員会	秋田県建設技術協会 コンサルタント委員会 市民 交流研究小委員会
来場者	283名	135名 (ブース参加18名)	525名	364名
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(説明用の)写真がありわかりやすかった。</li> <li>・小学校や家でかるたをやりたい。</li> <li>・保育園児には読み札の単語が少し難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて土木に触れて、想像以上に身近なものだと知った。</li> <li>・土木には様々な仕事があり、私たちの生活を大いに助けているなどと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインが可愛い。</li> <li>・カルタ欲しいです!</li> <li>・カルタがとても楽しかった。カルタで勝ると嬉しい。</li> <li>・カルタの説明の際に写真があると良くわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたの説明がとても丁寧だった。</li> <li>・楽しいイベントでわかりやすかったです。</li> <li>・勉強になり、土木を少し身近に感じました。</li> </ul>

## 「どぼくカルタくいずカレンダー」作成&配布！

「どぼくかるた」のイラストを用いた「どぼくカルタくいずカレンダー2020」を作成しました（図-1参照）。縦A3版中綴じで上部がイラスト、下部が月ごとのカレンダーです。カルタ大会を実施した小学校、市民交流研究小委員会委員の同僚や友人等で小学生くらいのお子さんがいらっしゃるご家庭を中心に300部配布しました。カレンダーとして、毎日目に触れるところに飾っていただいています。また穴埋めクイズを取り入れることで子供の興味を引くことができ、土木の言葉がより一層身近なものになっています。また、みなさんの声の中にかるたの製品化を求める声も多数ありました。

### <配布先のみなさんの声>

- ・あまりカルタをやったことのない娘（小2）が、『やろう！やろう！』と言っています。
- ・土木の言葉が家庭内で発せられることってほぼ無いので新鮮でした。
- ・カルタの絵柄がかわいいので、人気がありました。
- ・土木の言葉が新鮮なようで、息子が声を出して読んでいました。
- ・カレンダーはほぼ毎日目を通すものなので、今まで知らなかった土木のことを身近に感じることができ、とても良い取り組みだと思いました。
- ・ひらがなを読み始めた子供が読むのにはまっている。その子が読んで、兄がそれに答える、という遊びが家ではやっている。
- ・息子が気に入ったので、我が家では、これまで使用していたサンリオのカレンダーは廃棄され、どぼくかるたカレンダーでスケジュール管理しています。
- ・3歳の息子が「ユンボ」を気に入って連呼している。
- ・絵も可愛いので、製品化されるのであれば、かるたが是非ほしい。
- ・防災系の内容（地震とかの災害が来たらこうしましょうなど）があるといい。
- ・子供たちには言葉が難しいと思うけど、難しいこと知ってるほうが自慢できるみたい。
- ・「掘削機って？」、「環境アセスメントって？」とか質問が次々きて、そういうのに疑問を持って知りたいと思うのはいいことだと思う。
- ・遊びながら勉強にもなってるうれしい
- ・土木に携わっていない者にとっては少し難しい言葉もありましたが、子供と一緒に学ぶきっかけになっています。



図-1 どぼくカルタくいずカレンダー2020（上段左より：表紙、1月、2月 下段左より：5月、8月、12月のカレンダーイラスト）